

大川委員長提出

ICFトレーニングコース（基礎編）：専門家向け（案）

1. 目的：広範囲の専門家が、クライアント（患者、利用者、生徒、等）をよりよく理解し、その「最良の利益」の実現に役立てるために、ICF（WHO国際生活機能分類）を理解し、活用できるようになるための基礎を学ぶ。
2. 対象者：専門職（医師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、等）、研究職、教育職（当事者は除く）
3. 期間：2日間
4. 具体的内容
 - 1) 生活機能とは
 - ・「生きることの全体像」についての「共通言語」
 - ・「生きることの全体像」を示す生活機能モデル
 - ・生活機能モデルの特徴
 - ・「生活機能」とは「心身機能」「活動」「参加」の包括概念
 - ・マイナスもプラスの中に位置づけて
 - ・生活機能に影響する「健康状態」と「背景因子」
 - ・階層性の意義：相互依存性と相対的独立性
 - ・「統合モデル」としての生活機能モデル
 - ・「活動」の実行状況（している活動）と能力（できる活動）
 - 2) ICFの分類とコーディング
 - ・WHO-FIC（国際分類ファミリー）－中心分類としてのICFとICD
 - ・ICFの分類の原理と構成
 - ・「共通言語」とは共通のものの考え方・とらえ方
 - ・ICFの活用－コーディングの実際
 - ・「活動」・「参加」の評価点基準
 - ・環境因子の評価点にはプラスとマイナスが
 - ・「生活機能整理シート」の活用を